

JARL

倉敷クラブ報

第334号

2018年 2月10日 (土)



JARL 倉敷クラブ (登録番号31-1-1)

クラブ局 JA4YAB

<http://www.jarl.com/ja4yab/>

クラブ代表者 土井 淳 (JE4NHC)

〒710-0005 倉敷市西岡1073

目 次

はじめに	JA4KI	1
CQローカル・庶務連絡	JL4TTY	3
お知らせ	出稿JA4KI	4
NEWS	出稿JA4KI	6

次回定例ミーティングのお知らせ

日 時：2018年 4月14日（土）13時30分 ～

場 所：倉敷市西岡荘（駐車場あり）

次回以降の定例ミーティングは原則として偶数月の第2土曜日にあります

倉敷クラブの管理するレピータ

JR4WH 439.76MHz （運用責任者：JH4E00）

倉敷クラブ役員

	会 長（代表者）	JE4NHC	
会 計 担 当	JH4GNE	ミーティング 担当	JA4TI
監 査 担 当	JH4E00	ミーティング 担当	JR4BXX
庶 務 担 当	JL4TTY	ク ラ ブ 報 担当	JA4AJB
アワード 担 当	JL4TTY	ク ラ ブ 報 担当	JH4GNE

クラブ報の原稿はミーティングの2週間程度前迄に、クラブ報担当まで
Eメールでもし出来ない時は持参でお願いいたします 原稿の寸法は
表紙の外枠（13.5×21.5cm）です クラブ報担当 JA4AJB、JH4GNE

クラブ報はミーティングの会場にはございませんので定例ミーティング
までに然るべき方法にて受領され定例ミーティングにご持参下さい

アマチュア無線ほか無線関係の国家試験情報は倉敷クラブのホームページ
下部「関連先のホームページ」の中にある 日本無線協会(J.R.I.)に
ありますので、関心のある方は協会のページに行ってください

はじめに

J A 4 K I 吉岡 謙

昨年の大晦日に、毎年恒例のNHK紅白歌合戦を観た。その中で、石川さゆりが歌った1977年発表の「津軽海峡冬景色」を聴いたときに、何か異様な思いが湧き出てきて、複雑な気持ちになって、その訳が何か分からないまま年を越した。司会者の話から、この歌は石川さゆりが紅白初出場に時に歌った曲であることが分かった。

ある一人の女性が東京で知り合った男性と別れて、東京の上野発の夜行列車に乗って一晩かかって雪の青森へ着き、青函連絡船(1988年に青函トンネルが開通して廃止された)に乗り継いで、息で曇る連絡船の窓から本州最北端の竜飛岬(たっぴみさき)を見ながら、本州に別れを告げて、吹雪の津軽海峡を渡って、ふるさとの北海道へ涙しながら帰るといふ悲しい歌である。その当時の、連絡船の青森から函館までの所要時間は、約3時間50分であった。

その後、なぜかは分からないが、突然その曲に関係するかが思い出された。その時脳裏に浮かんだ情景は、本州の最北端の青森県の「竜飛岬」であった。津軽海峡冬景色の2番の歌詞の中に、竜飛岬が登場するのである。

2000年5月の第42回JARL通常総会は、「はこだて総会」という名前で、5月21日に函館市民会館で行われた。この総会の出席には、往路は時間の関係で、航空機を利用したが、帰路は時間がゆっくり取れたので、航空機より安価な列車で帰る様に計画して、その時にせっかく北海道からの帰りに青函トンネルを通るのならば、ぜひ寄ってみたいと思うところがあった。

函館総会までに、北海道で開催されたJARL総会は3回あったが、1989年5月28日に登別市で開催された第31回JARL通常総会「おにっこ総会」の時には、青函トンネルが1年前に開通しており、往路の時間がゆっくり取れたので、青函トンネルの北海道側の、「吉岡海底」へ降りて海底トンネルを見学した。

北海道側の吉岡海底へ降りられるのは、本州から北海道へ行く下り列車のみで、反対に本州側にある竜飛海底へ降りられるのは、北海道から本州へ向かう上り列車のみで、吉岡海底は既に見学していたので、本州側の竜飛海底を見学したかったのである。

この海底駅の見学は、現在では終了して行われていない。

総会当日は函館駅近くのホテルに泊まり、22日朝チェックアウトして、函館駅の改札を通り、電気機関車が牽引する海峡号の先頭車両の指定席に乗車して発車を待っていたら、昨日の総会で一緒だった当

時の J A R L 中国地方本部長・理事の J A 4 A O さん(故人) が私の席へ来た。なぜ私がここに居るのが分かったのかを尋ねたら、改札を通るときに、駅員が「お連れさんは1号車です」と教えてくれたので、その「お連れさん」はいったい誰なのだろうと探しに来た、とのことで、北海道から遠く離れている岡山や広島は、北海道の人から見ると、同じ所のように思えるのだろうと J A 4 A O さんと笑った。

その後彼は、海底駅で降りるのでは無く、この列車で青森まで行って、そこから列車を乗り継いで、広島まで帰るとのことで、別の一般の車両へ移っていった。

竜飛海底駅へ着いて、吉岡海底駅の時と同じように、多くの J R の警備員に我々見学者の一団の前後左右を取り囲まれて、海底トンネルを見学した後、けたたましいサイレンが鳴り続けるケーブルカーで地上へ出て、青函トンネル記念館へ行った。

見渡すと、東北電力の風力発電機が、岬のあちこちにいくつも回っており、岬の風を有効に活用していた。すぐ近くに小高い展望できる場所があったので上ってみたが、こちらへ出発する前日に J A 4 Y U さん(故人) から、いつものように電話があつて、「J A R L 総会ご苦労さん、今年もあんたに委任しとるけーよろしゅうお願いします。」と言われたのを思い出し、無事終わったことを知らせようと電話を取りだした。小高いところにある展望台の上なら、電波状態は F B だろうと思ったが、「圏外」の表示が出て、J A 4 Y U さんと話すことはできなかった。竜飛岬は人口密度が低く、携帯電話の上では僻地だったらしい。

J R の案内人の話では、岬を回る遊歩道があつて、一周してきても、我々が乗車して帰る上りの海峡号には、十分間に合うので、行ってみては、とのことで、途中で石川さゆりの記念館があり、コインを投入すると「津軽海峡冬景色」の熱唱を聴くことができるとのことだったが、私はその時間を、青函トンネル記念館で昼食を摂る時間に使った。

函館総会の次の年の、2001年5月の第43回 J A R L 通常総会「富山総会」の時は、J A 4 Y U さんからの電話は無く、案じていたら、総会后間もない6月6日に他界された。

J A 4 Y U さんのことは、以前のクラブ報で、何回かに分けて紹介したが、クラブの事を我が事のように思い、特にクラブ報については、自分や家族の生活を犠牲にしてまで、そのよりよい姿を求めて、努力された姿には敬服のほかない。

クラブの長い歴史は、多くの O M の努力によって支えられ、現在の「倉敷クラブ」があるということを思い、関係された諸 O M に感謝するのみである。

☆ お知らせ

★ 住居移転

JI4MUW 藤原 明 氏 平成30年1月21日
〒701-1221
岡山市北区芳賀 県営住宅芳賀佐山住宅地 19-402
に移転しました。

★ 訃報

元クラブ員 JE4OXP 長瀬 祐治 様が永眠されたとの記事が
1月17日の山陽新聞の「おくやみ欄」に掲載されて居りました。
謹んでお悔やみ申し上げます。 合掌

☆ 通常総会のご案内

次回の4月14日〈土曜日〉にJARL倉敷クラブ通常総会を定款
14条により開催いたします。つきましては総会を欠席される方は
必ず委任状を、3月末までに代表者 JE4NHC 土井さんにお届けください。
以上よろしくお願ひします。

☆ クラブ新年会の写真

1月14日に行われた新年会の写真を掲載します。
詳しくはクラブのホームページをご覧ください。



以上

お 知 ら せ

◎アマチュア無線技士国家試験

・第一級・第二級アマチュア無線技士

次の4月期の試験は、まだ正式な発表はありませんが、JARLメルマガやCQ誌によりますと、受験申請受付が、2月1日（木）から20日（火）までで、インターネットによる申請も同じです。

試験日は、一アマ4月7日（土）、二アマ4月8日（日）です。

試験地は、各総合通信局の所在地（沖縄は那覇市）で、住所地に関わりなく、日本国中どこで受けても構いません。

試験科目と試験開始時刻は、法規 09:30 無線工学 13:00 です。

正確な情報は、協会へお尋ね下さい。電話番号やHPのアドレスは、本誌今年の4月号の国試予定表をご覧ください。

・第三級・第四級アマチュア無線技士

3月期の試験月日は、

近隣の試験地 大阪 3月 3日（土）

お待ちかねの 岡山 3月25日（日）

となっておりますが、受験申請の受付は既に先月終わっています。

試験開始時刻などについては、本誌今年の4月号をご覧ください。

正確な情報は、協会へお尋ね下さい。電話番号やHPのアドレスは、本誌今年の4月号の国試予定表をご覧ください。

なお、平成30年度の国家試験案内は、発表され次第直近のクラブ報でお知らせします。

（出典 JARLメルマガ、CQ誌、日本無線協会三・四アマ技士

国試案内

出稿 JA4KI）

◎JARL岡山県支部技術講習会

誰でも参加できます。予約や申し込みは不要です。

「D－STAR徹底解説！」

講師 アイコム（株） JK3AZL 高岡奈瑞さん

2月18日（日）13:30～16:30（予定） 受付13:00～

倉敷市玉島市民交流センター 2F 第2会議室

無料駐車場あり

内容（予定）13:30～14:00 入門編 D－STARの概要と
使い方

14:05～14:35 応用編 防災に役立つ画像伝送
D－STARの山岳利用

14:40～15:10 新機能 ターミナルモードと
アクセスポイントモード

15:20～16:00 D－STARサポートサービス

その他詳しいことは、JARL岡山県支部ホームページをご覧ください。
(出稿 JA4KI)

◎訂正

先号（第333号）10ページ 下から9行目 で、局名録の次の
発行年を2000年と書きましたが、2000年は既に過ぎており、
正しくは 2020年 でした。

お詫びして訂正します。

(JA4KI)

◎スプリアス確認保証の解説資料を差し上げます

昨年11月に開催された、JARL岡山県支部ハムの集いの出席
者や、1月14日の倉敷クラブ新年会で希望者に配布した、JAR
Dのスプリアス確認保証の参考資料に、まだ若干の余部があります。

ご希望の方は、JA4KIまでご連絡下さい。郵送で余部が無く
なるまでお送りします。

電話 (086) 424-1057

FAX (086) 424-1047です。

いずれも発信番号を通知してご利用下さい。

FAXの場合は、〒・住所・氏名を必ずお書き下さい。

(出稿 JA4KI)

N E W S

◎ J A R L ニューイヤーパーティー参加

J A R L の新年恒例のニューイヤーパーティー (N Y P) に、倉敷クラブメンバーが今年も参加しました。

参加者はコールサイン順に J A 4 K I (J A 1 B R P / 4 も)、J A 4 A O U、J A 4 Y A B / 4、J H 4 G N E、J R 4 B X K、J G 4 B C G の 7 局で、1 月 2 日 08:45 に J R 4 B X K さんから 4 3 3.3 6 M H z で呼びかけられ、各局が次々と応答し、09:00 からは N Y P に移行して、09:07 迄行われ、09:08 からは、1 4 5.3 6 M H z に Q S Y して同じく 7 局と 09:19 迄行われ、続いて 09:19 からは、1 2 9 5.3 6 M H z に Q S Y して 4 局がコンタクトして、クラブでの N Y P への参加は終了しました。

その後は、各局が、好みのバンドで、記念ステッカーが貰える 20 局以上を目指してコンタクトを続けられました。

来年は、N Y P へのもっと多くの方々の参加を希望します。

(出稿 JA4KI)

◎ J A R L 倉敷クラブ新年会開催

毎年恒例の新年会が、J R 4 B X K さんのお世話によって、1 月 1 4 日 (日) 11:30 より、倉敷天満屋 6 F の「すぎ茶屋」で今年も開催されました。

出席者は、コールサイン順に J A 4 K C、J A 4 L I、J A 4 A J B、J A 4 A X M、J H 4 E O O、J H 4 G N E、J R 4 B X K、J E 4 N H C、J G 4 B C G、J L 4 T T Y の各局の他、クラブ員のご家族とパソコン勉強会のメンバー 5 名の計 1 5 名でした。

倉敷クラブのホームページに詳しく出ておりますので、そちらも是非合わせてご覧ください。

(出典 J A R L 倉敷クラブホームページ 出稿 JA4KI)